

域学共創プロジェクトG

【ケア機能のあるまちづくり】

原つぐみ、野島夢花、宮崎花凛、担当：伊賀聡子

目的

域学共創プロジェクトを通して、地域で生活されている、精神障がい者・発達障がい者の皆さまと『繋がる』ことを目的とする。

活動内容

就労継続支援B型事業所 『BB団の箱』

- 段ボールを使って小物入れ作り
- 学際に向けて移動販売の箱作り

BB団の箱さんでは、クロスステッチやビーズアクセサリーなど可愛い手作り小物を作成していますが、地域の方々に商品进行販売する機会、地域の方々との交流の機会が少ないことが課題でした。そこで、大学祭でBB団の箱の作業内容や手作り小物販売を通して障がいをもたれた方と学生、地域の皆さまが『繋がる』ことを目標として、小物を販売する小物入れや、移動販売の箱を作成しました。

➢ 青パイア狩り

BB団の箱の皆さんと青パイア狩りに行ってきました★
地域の方々と地域で生活されている障がいをもたれた方が、青パイア狩りを通して『繋がり』、楽しいひと時を過ごすことができました。



就労継続支援B型事業所 『生活クラブ 風の村 スペースぴあ茂原』

➢ ペットボトルアートの作成

皆さまから頂いた、『繋がる』をイメージしたデザイン画を、一つの作品にしました。皆で集めたペットボトルのキャップを再利用して、ペットボトルアートを仕上げました★

➢ アール・ブリュッド作品の展示・作品への感想を作者へとどける活動

フランス語で『生の芸術』と呼ばれている作品を大学祭で展示します☆ その時、その瞬間、その人が詰まった芸術作品を、鑑賞していただける場の提供を通して、『繋がる』を実現します。また、作品を鑑賞していただいた方から、作者へメッセージをとどけようと考えています。作者の中には、外に出ることが難しい方や、人と関わるのが苦手な方もいらっしゃいます。メッセージをとどけることで、障がいをもたれた方々と、地域の皆さまが『繋がる』ことができるのではないかと考えました★

